会報たま
公益社団法人 日本山岳会
東京多摩支部
2022年2月10日発行
第４７号

# 「山＊フェス」大成功！　国分寺フェスティバルへ初参加

総務委員会　菊地美奈子

10 月 24 日（日）10 ～ 16 時半、秋晴れの中、国分寺駅ビルの Cocobunji にて「山＊フェス」と銘打った支部紹介のフェスティバルを開催した。国分寺市民祭りの一環として企画され、市民に支部活動を広く知っていただき、入会希望を募るとともに、会員の交流をはかることを目的としたものだ。

前夜にある程度の準備をし、当日開場までの 1 時間で皆が協力して動線の良い会場が出来上がった。各コーナーに説明要員が立ち、質問疑問にすぐに応えられる態勢が自然に整った。

会場では会報・山行・登山教室・自然保護・野火止保全活動各委員会と『多摩百山』のパネルが壁面を飾った。デスクにはアルパインスケッチ倶楽部から拝借したスケッチブックを並べた。様々な配布資料を興味深そうに手にする方が多く、置いてあった会報 80 部はすべてなくなった。登山相談コーナーで熱心に相談する方の姿や、PC による動画・ホームページ閲覧コーナーを楽しむ方もいた。

ぶっつけ本番だったが、スタッフは来訪者に談笑を交えながら丁寧に説明していた。自然保護に興味がある方、山仲間を求めて来た方、暫く会えなかった旧友との再会を喜んでいる方など、多くの方の交流の場になっていた。来場者は 100 人前後と思われる。

アンケートから、ホームページや新聞掲載での広報、駅や公共施設、スポーツ用品店のチラシなどで「山＊フェス」を知った方が多く、これらが予想以上の成果をもたらしたと思われる。入会手続きをした方、入会を検討された方も 10 名ほどいた。

初めての取り組みで暗中模索の中、総務委員、支部長、委員会と PT 幹事などでワーキンググループを立ち上げ、8 月初旬から 4 回打ち合わせをした。意見交換と意思の疎通ができたことが成功につながったと思う。

スタッフの皆様に、一体感を持って支部活動のアピールができたことを心から感謝し、別の街でも山友の環を広げていければと願う。

引きも切らずに来場者が訪れた会場

楽し気に談笑する人も

## 支部の新しいホームページ立ち上げ

ICT 委員会委員長　近藤雅幸

支部のホームページ（HP）とメールマガジン（メルマガ）をリニューアルした。以前の HP は IT の熟練者でないと更新や書き込みができず、コミュニケーション・ツールとしての利用ができなかったが、新 HP は「ワードプレス」をベースとし、ワード感覚で書き込みや更新ができるため、会員同士の自由な情報交換が可能になった。新 HP では書き込みや情報の配信が自分でできるので、フォーラムでの個人山行への参加者の募集、山の写真の公開なども気軽にできる。メルマガも自動配信できるので、HP に掲載された情報はそのままメルマガとして支部会員に届くようになった。さらに新 HP では SNS、Facebook、twitter、LINE への配信や情報交換ができるし、スマホでも様々な情報が確認できる。ただ書き込みを行うためには会員登録が必要になるので、ぜひ登録してほしい。

このように魅力ある機能満載なので、ぜひ新 HP https://jac.tokyo/ を覗いてほしい。なおつい先日、多摩 100 山を含むすべてのデータを新 HP に移行したので、近いうちに旧 HP は閉鎖する。

現在、ICT 委員会では新たな委員を募集している。IT に興味のある方はぜひ応募して、新 HP の運営に参加していただきたい。

## ＜自然保護委員会・野火止保全林の会＞　八王子鑓水の古道「絹の道」と自然観察会

10 月 15 日に古道「絹の道」と自然観察会が、守屋龍男氏を講師として開催された。参加者は岡、岡田、菅野、吉川。JR 八王子駅 9 時に集合、京王北野駅からバスに乗り北野台 3 丁目で降りる。目の前に 200m ほどの急な階段があり、ここが大塚山（213,4m）で、絹の道への取り付き。講師から青紫色のツタバウンラン、ススキとオギの違い、カラスウリは「種が打ち出の小槌に似ているので、お財布に入れるとお金がたまる」など説明がある。山道を進むと、10:20、大塚山公園・道了堂跡着。鑓水商人によって浅草から移された曹洞宗の寺院があった場所で、絹の道全盛期には茶屋が出るほどの賑わいだったそうだ。今は苔むした礎石だけが残り鬱蒼としている。参道の石段を下りると鑓水峠。台石に「桑・糸巻き・繭玉」のレリーフが彫られている「絹の道」の碑があり、ここから絹の道を歩く。ゴロゴロの石が敷き詰められた山道から舗装された三叉路に出ると、11:10、庚申塔、秋葉大権現、百八十八ケ所供養塔が並んでいる。歩くこと数分で、11:25、絹の道資料館着。ボランティアの方が、鑓水商人が横浜へ生糸を運んでいた事、製糸・養蚕の事などを解説。最後に永泉寺へ向かう。13:15 、永泉寺着。鑓水商人の墓が沢山ある。山門脇に立派な銀杏が立ち、ギンナンを頂戴して八王子駅にバスで戻った。　（文／菅野浅代、写真／岡田陽子）

庚申塚で守屋講師の説明を熱心に聞く

## ＜安全対策委員会＞　事故発生時の現地対応シミュレーション講習会

2021 年 10 月 23 日（土）に奥多摩にて表題の講習会が開催された。午前は奥多摩消防署内で署員が講師となり、最近の山岳事故発生状況、山岳救助隊の活動内容など講義し、三角巾での手当の指導を行った。その後、消防署の裏山に移動して、救助活動シミュレーション実習を行った。

雲取山から下山中にメンバー 1 名が登山道から転落、右足首骨折の疑いで自力下山が困難となり救助要請する事例だった。リーダーが行動停止指示、指名のメンバーが事故者の状態検証と介護、リーダーが救助要請と留守番担当への連絡（携帯電話を 2 台準備）、救助要請した消防署との事故現場等伝達のやり取り、山岳救助隊到着、事故状況等の確認と救助活動実施、事故者を担架で搬送する実習を行った。

午後は登計セラピーロード尾根広場にて、安全対策委員が講師となって実技を行った。午前に実習した内容を、2 班に分けて交互にシミュレーションを実施した。皆、実際の事故さながらに真剣に取り組み、充実した講習会だった。終了ミーティングでは、危機管理意識の向上のために継続的にこの講習会を実施し、多くの会員が参加すべきとの声があった。参加者は 17 名（野口、佐藤、石井、小野、竹中、小嶋、三尾、茂呂、渡辺、広瀬、内藤、赤坂、冨永、齊藤、中原、西山、吉川）だった。

（文／吉川三鈴、写真／渡辺誠）

山岳救助隊員とのシミュレーション講習

## ＜自然保護委員会＞　講演会「奥多摩の自然を守ろう」開催

2021 年 10 月 29 日に立川市女性総合センターで、自然保護委員会主催で講演会「奥多摩の自然を守ろう～東京都レンジャーの話～」が滝澤憲久氏（( 東京都自然保護指導員 ) を講師に招いて開催された。

瀧澤講師が奥多摩の自然を熱く語る

東京都レンジャーの主な業務は、利用マナーの普及、法令違反行為の監視、自然公園施設の整備、山火事・森林災害の早期発見、サポートレンジャーの指導で、現在 25 人が奥多摩、御岳、檜原、高尾、小笠原の 5 地区を担当している。

奥多摩の最大の特徴は火山がないことである。植物は亜高山（1800m 以上）、山地帯（1800 ～ 700m）、低山帯（700 ～ 250m）と標高毎に変化する。センサーカメラでとらえた動画と写真を使って動植物が紹介された。10 年前より絶滅危惧種が増えているが、伝えたいのは「生物多様性と生態系を守ること」。

「自然公園利用ルールガイド」に記してあるが、登山道、指導標、橋、階段、避難小屋を整備しているので、その情報をビジターセンターに提供してほしいとのこと。課題は、自然災害の猛威（台風、豪雪、大雨など）、シカによる食害、人による被害（オーバーユース、盗掘、踏み荒しなど）がある。「みんなで守ろう！東京に広がる大自然！」と瀧澤講師の言葉に熱がこもる。参加者は一般 7 名、会員 20 名だった。

（文／河野悠二、写真／石塚嘉一）

〈10 月定例山行〉

# 荒船山　― 紅葉の海に浮かぶ艫岩へ ―

【日　時】2021 年 10 月 30 日（土）
【天　候】晴れ
【参加者】14 名 / 山行 L 内藤、（A 班）SL 小野 ( 勝 )、川島、佐野、関口 ( 惠 )、L 富永、中村 ( 敦 )、吉川、
（B 班）SL 石橋 ( 學 )、石川 ( さ )、太田、L 清水 ( 茂 )、三ツ井、山内
【行　程】上信電鉄下仁田駅 9:30（タクシー）＝ 10:15 ～ 30 内山峠→ 11:30 鋏岩修験道場跡→ 12:30 艫岩（昼食）
→ 13:55 ～ 14:25 経塚山→ 15:10 星尾峠→ 15:50 荒船不動（タクシー）＝下仁田駅 16:40（解散）

【記　録】

コロナ禍により今年初めての定例山行。雲一つない秋晴れに期待が高まる。

下仁田駅に集合して、タクシーに分乗。30 分ほどで、台地状の特異な山容が姿を現した。西上州には不思議な形の山が多いが、荒船山はその代表格だろう。登山口の内山峠は車で溢れ返り、路駐の列が長く伸びていた。ミーティングと体操の後、登山開始。コロナ対策で 2 班に分かれて、群馬と長野の県境の稜線を進む。途中痩せて群馬側が切れ落ちているところが数か所ある。やがて樹間越しに艫（とも）岩の絶壁が見えてきた。色づいた木々の上に浮かんでいるよう。艫とは船尾の意とのことだ。小ピークを越えたところで真っ赤なモミジが目前に現れて、歓声が上がる。事前の情報では色づき始めとのことだったが、見頃始めという感じ。10 月の山行として最終土曜日を選んだのは正解だったようだ。

1 時間ほどで鋏 ( はさみ）岩修験道場跡に到着。絶壁の下の洞穴状のくぼみを見学する。礎石や石碑の残骸などが点在し、古が偲ばれる。少し進むと橋で沢を渡る。一杯水の水場だ。

荒船山（経塚山）の山頂で

真っ赤な紅葉に歓声が上がる

ここから荒船山本体の上りにかかる。梯子やロープのつけられた急坂の岩場。次々に現れる下山者とのすれ違いに難渋したが、長くはかからなかった。傾斜が緩やかになると、広々とした台地の一角に飛び出した。少し歩くと艫岩の断崖絶壁の上だ。この特異な景観は一見の価値がある。はるか彼方には冠雪した北アルプスの白い連なりも見えた。岩の端からこわごわ覗きこんでみると、赤、黄、緑のモザイク状の樹冠が美しかった。

艫岩でゆっくり昼食を取って集合写真を撮ってから、経塚山に向けて出発。山上とは思えない平らな空間が広がる。やがてクリンソウ群生地の看板が目に入った。花の咲く時期に、また訪れてみるのもよさそうだ。さらに進むと、船首に当たる部分にピョコンと飛び出したピークが見えてくる。息を切らしてピークに立つと、小さな祠があった。荒船山の最高地点、経塚山 1422.7m だ。 ここでもう一度集合写真を撮って下山。コロナ禍の運動不足か、脚攣りに見舞われた者がいたが、20 分程度の遅れで荒船不動に到着。帰りのタクシーがすでに待っていた。下仁田駅に戻って解散。夕日に照らされて紅に染まった荒船山が見送ってくれた。　（文・写真／内藤誠之郎）

〈11 月定例山行〉

# 大室山　― 道志からの富士の眺めに満足 ―

【日　時】2021 年 11 月 13 日 ( 土 )
【天　候】晴れ
【参加者】8 名 /L 齊藤、SL 中尾、山下（和）、佐野、太田、山本（曜）、小野、鬼村
【行　程】富士急都留市駅 7:20 ＝ ( タクシー ) ＝ 7:55 ～ 8:15 道志登山口→ 10:45 ～ 50 加入道山→
11:15 前大室→ 12:30 ～ 13:05 大室山→ 14:10 前大室→ 14:35 ～ 40 加入道山→ 16:25 登山口 ( 解散 )

【記　録】

季節外れの降雪で山頂を踏めなかった前回のリベンジとして、同時期の山行にチャレンジ。

緊急事態宣言解除後、二回目の定例山行。自家用車で参加の２名と登山口で合流。北面から向かう加入道山方向を見上げると雲一つない青天。顔合わせのミーティングをしながらもワクワクが止まらない。

鹿戸を２カ所越え、東屋で一息。水場を左に巻いた辺りから急斜面が始まる。黄色やオレンジに輝く紅葉に励まされながら尾根を上り、針葉樹林帯の巻きを繰り返すとやがて右手後ろに富士山が見えてくる。大理石の採石場跡が近く、ザレた石が多くなり稜線直下の崩落場所に着く。フィックスロープに誘導されるように慎重にステップを上げると 15 分程で、加入道山と白石峠を結ぶ稜線に着いた。北に向きを変え、避難小屋のある加入道山に到着した。

加入道山では、西丹沢縦走をしていた山行委員の佐藤氏と石橋氏が出迎えてくれるサプライズ。総勢 10 名で大室山まで目指す。

稜線から見える景色に心が躍る。前大室を越え、破風口まで下ると、再び見上げる程の登りの繰り返し。丹沢特有の整備された木段や梯子

稜線から富士・アルプス方面を望む

をゆっくり登る。振り向くと、大きく美しい富士が背後から後押ししてくれていた。荒れたブナ林を過ぎ、大室山山頂に到着。無風で気温は 3℃。遅めの昼食を取った。記念撮影し、西の肩で個人山行のお二人を見送り、往路を戻る。

下りは富士山を見ながらの歩行。途中足を止め、しばし山座同定。箱根方面の先、遥か駿河湾がキラキラと黄金に輝いていた。往路とまた違う眺望に感動しながらも下りの歩は早く、日没前に登山口に下山。明るいうちに解散。

高尾方面からの富士隠しの「大室山」は、深い登山口から取り付く山であったが、どっしりと丹沢を包み込んでいて海も臨めるとても魅力ある山だった。　　( 文・写真／齊藤理恵子 )

《感想》🙂太田：紅葉を楽しみながらの穏やかな登り、後ろに富士山が見えると「いいね！」以外の言葉はない。加入道山～大室山の稜線から白く輝く富士山、金色の駿河湾を遠望し感激。

🙂佐野：加入道山～大室山は緩やかな尾根歩き。朝は寒かったが太陽が昇ってから天候も良くなり恵まれた山行だった。🙂山　本（曜）：富士山や南アルプスがくっきり見え続けて感動的。山がまた好きになった一日！

大室山山頂にて

下りのビューポンイントで

## 〈12 月定例山行〉

# 三原山の大島　―「いつか森になる道」を歩いて山頂へ ―

【日　時】2021 年 12 月 12 日（日）
【天　候】晴れ時々曇り
【参加者】12 名 /L 西山、SL 富永、植草、太田、小野、佐久間、清水（茂）、中原、中尾、畑中、三尾、山下
【行　程】12 月 11 日 20:45 東京竹芝客船ターミナル＝ 22:00 出港＝ 12 日 6:00 大島岡田港下船＝ 6:12 岡田港バス亭＝ 6:35 三原山温泉バス停 =7:10 大島温泉ホテル登山口→ 7:45 テキサスルート分岐 → 8:16 櫛形山→ 9:20 ～ 25 赤ダレ→ 9:45 滑走台跡→ 10:30 ～ 50 展望台→ 11:10 三原山山頂中央火口→ 11:30 剣が峰→ 12:25 御神火茶屋（解散）

【記　録】

島そのものが一個の活火山である伊豆大島三原山。35 年前の噴火で樹木がなくなった山道に「いつか森になる道」と名前が付けられている。前夜、東京竹芝桟橋に集合。自己紹介後、乗船。夜の東京湾の景色を楽しむ。

12 日 6:00 岡田港下船。まだ暗い。気温 7 ～ 12 度、風速 10 ～ 12 mとの予報。三原山温泉バス停に着くまでの車中で雲の隙間から朝日が昇るのが見える。大島温泉ホテルの敷地内のバス停で下車。風が強いので、ホテルの敷地内のシェルターの中で腹ごしらえをする。

装備を調え、7:10 大島温泉ホテル登山口を出発。濃いピンクの花をつけたサザンカのトンネルの登山道を歩く。しばらくすると景色がススキに変わる。さらに進むと荒涼たる砂漠のような景色が目前に広がる。樹木はなく足下は軽石のザレ。茶色の砂山と青空のコントラスト。登山道がないので GPS を頼りに前へ進む。櫛形山を目指して登る斜面で振り返ると、富士山と伊豆半島が綺麗に見える。ここから風が強くなる。

裏砂漠で風にあおられる

「いつか森になる道」を行く

櫛形山の頂上では暴風。風を避けるために早々にザレの斜面を降りると景色が一変する。海に面して鉄分が赤く酸化した溶岩壁の広がる渓谷「赤ダレ」や、レールの上の箱に乗って滑り降りる遊具の跡が残る「滑走台跡」を経由し、展望台内で昼食。屋上から伊豆の島々が見える。

早々に食べて歩き出す。ここからお鉢回り。遮る物がない道、ますます風が強まりロープにつかまらないと前に進めない。11:30、この日の最高峰 749 m剣が峰に到着。直径 300 m深さ 200 mの大迫力の火口を背に、支部旗が飛ばされないようにしながら記念撮影。三原神社を目指してすぐに下山開始。割れ目噴火口から立ち上る水蒸気を見て、活火山であることを実感する。

20 分後、三原神社に到着。ゴジラ岩を見学して御神火茶屋に向かう。ここからは樹木の中、緩やかな下山。12:25 御神火茶屋に到着。小野氏から強風対策のレクチャーを受け解散。

風による体力消耗を実感する山行だった。　（文／中尾 理絵、写真／西山さより、中原三佐代）

赤い溶岩の地層「赤ダレ」にみな興奮！

新人です
よろしく！

山下和保さん

活火山の爆風の中でも皆さん、笑顔が絶えない！
感動の体験でした！

〈10 月平日山行〉

# 今倉山と道志二十六夜山　― 伝承に彩られた秋の山歩き ―

【日　時】2021 年 10 月 21 日（木）
【天　候】曇り時々晴れ
【参加者】7 名 /L 石橋、SL 上原、小野、佐藤、中原、中尾、太田
【行　程】8:00 富士急線都留市駅＝ 8:30 道坂隧道入口→ 10:10 今倉山東峰→ 10:24 西峰 [ 御座入山 ] → 11:00 ～ 12:30 赤岩→ 12:46 ～ 13:00 道志二十六夜山→ 15:00 上戸沢車道出会→ 16:00 富士急線赤坂駅

【記　録】

コロナによる緊急事態宣言が解除され、初めて実施される会山行とあって、それなりに気持ちを入れて出かけた。都留市駅前からタクシーに分乗し道坂隧道入口で下車する。トンネル脇の登山口から入山。15 分ほどでトンネル上に登り、そこから今倉山目指して北上すると 1 時間半ほどで東峰に到着した。だがこの登路に入って間もなく、標高 1250 ～ 1300m 付近で突然上方から小熊が突っ込んで来たのだ。先頭を歩く SL に衝突直前、小熊が西側の谷へ転がるように降りて行き事なきを得たが、母熊に遭遇しなかったのが幸いだった。

今倉山東峰からの展望は木の間越しでしか得られない。東の菜畑山方面の道は藪っぽいが、我々は西の御座入山 ( 今倉山西峰 ) へ向かって明瞭な道を辿る。10 分ほどで西峰を通過し、西ヶ原で道坂方面への道を分け、そこから僅かに進むと赤岩のピークに着いた。360°の展望地で、曇天ながらも大きな開放感があった。

赤岩で昼食を摂って更に西へ進む。林道を越えて西北に向かうと、道志二十六夜山に辿り着いた。ここは江戸期から明治期にかけて、旧暦の正月と 7 月 26 日の夜に飲食を共にしながら

清々しい今倉山登路

赤岩山山頂にて

月の出を待ち、月光に現われる阿弥陀如来・観世音菩薩・勢至菩薩の姿を拝むと願いが叶うという信仰の行事があった。今では山頂部に建つ「二十六夜塔」の石碑に名残をとどめており、ここに立っていると、古の賑わいが目に浮かぶようだった。30 分ほどの休憩後、下山開始。北へ向かって続く緩傾斜の道を辿る。やがて 1000m 付近で南東方向へ急下降。柔らかくて美味しい仙人水の水場や、カッチャ石という行者が利用した岩小屋を過ぎると、矢名沢添いに北へ向かって下るようになる。林道を進むと上戸沢集落内の車道出会に至り、解散。行動時間は約 6 時間半。伝承に彩られた秋の低山歩きは心地よいものだった。

解散後は「芭蕉月待ちの湯」への道を分け、全員で一路、富士急線赤坂駅へ向かった。

一つ忘れてはいけないことがあった。

「名月やさぞかしの宝池山」天和 3 年、江戸の大火で住居を失った松尾芭蕉が招かれてこの地に住んだ折、周囲の山々から登る月を写した池の美しさを詠んだ句だ。二十六夜山はこの地の人達の生活と不可分の山なのだ。

（文・写真／石橋 學、
写真／中原三佐代、太田雄三）

## 〈11 月平日山行〉

# 丹沢の鐘ヶ嶽　— 山岳信仰の修行道場　—

【日　時】2021 年 11 月 18 日（木）
【天　候】曇り
【参加者】7 名 /L 鬼村、SL 中原、太田、菊池、高間、中尾、松川
【行　程】本厚木駅＝ 9:50 鐘ヶ嶽バス停→ 10:00 鐘ヶ嶽登山口→ 11:05 十八丁目→ 11:30 ～ 55 浅間神社
→ 12:00 ～ 05 鐘ヶ嶽→ 12:50 山の神トンネル→ 13:30 広沢寺温泉口バス停＝バス＝本厚木駅

【記　録】

8:45 に本厚木駅に集合し、バスで鐘ヶ嶽バス停へ。バス停で自己紹介をしながら、リーダーからいただいたお饅頭でエネルギーチャージ。鐘ヶ嶽は浅間神社の修行の山とのこと。

10:00、鳥居をくぐって山行開始。紅葉が終わりかけの静かでゆったりした山道をおしゃべりしながら進む。「のぞきの松」では展望が開けて曇天ながらも周りの山の景色を楽しむ。ここを過ぎると石の階段上りが始まる。鎖がはってある場所もあり、かなりの急登。息を切らして登り着いたところが浅間神社だった。

昼食をとった後、鐘ヶ嶽頂上まで 5 分ほど。12:00、561 mの山頂に着いた。写真撮影をして広沢寺温泉目指して下山する。途中、ヘッドライトを装着して山の神隧道トンネルを通過。トンネルを出ると晴れ間が見えた。さらに下り、地元の方に教えてもらった水場で水分補給した。林道を下って広沢寺温泉バス停に無事到着。緊急事態宣言解除後２回目の平日山行、穏やかで楽しい山行となった。

（文／中尾理絵、写真／中原三佐代）

《感想》🙂 太田雄三：鐘ヶ嶽は 28 の丁石をたどると緩やかな登りだが、ラスボスの試練の石段が待っていた。七沢浅間神社から晴れていればスカイツリーや東京湾が見えるはずだが残念。🙂 高間晃子：数年ぶりの平日山行参加。コロナ禍のなか、筋力低下と体重増加で不安あった。暑くもなく寒くもなく風もない天気に恵まれ、歴史を感じながら楽しく登ることができた。🙂菊地美奈子：森の中を歩く楽しさを久しぶりに思い出した。初めての方が半数だったが、楽しい時間を過ごし、多摩支部山行の良さを再確認。山々で多くの方と楽しい時間を共有したい。

**鐘ケ嶽山頂にて**

mini レポート

## 白峰三山縦走

**富士を背に稜線を行く**

日時 /10 月 8 日（金）～ 10 日（日）
参加者 /L 西山　SL 中原　村岡
行程 /8 日甲府 = 広河原→白根御池小屋→肩の小屋
→北岳山荘（泊）/ 9 日北岳山荘→間ノ岳→農鳥岳→
大門沢小屋（泊）/10 日大門沢小屋→奈良田

3000 mの稜線歩きにテント担いで挑戦。好天に全身の細胞が喜んだ。仙塩尾根、白根南嶺への夢が広がった。（中原三佐代）

北岳で

間ノ岳で

農鳥岳で

〈12 月平日山行〉

# 筑波山　― 岩場と女体山山頂の絶景を楽しむ ―

【日　程】2021 年 12 月 16 日
【天　候】晴れ
【参加者】6 名 /L 高砂、SL 小野、浅野、高岡、川合、太田
【行　程】9:00 つくば駅前センター駅＝ 10:10 つつじケ丘→ 12:00 ～ 30 女体山→ 13:00 ～ 30 男体山→
15:20 筑波山神社（16:10 発）＝ 16:50 つくば駅

【記　録】

コロナ禍のために久しぶりの山行となり、明るい笑顔で集合。自己紹介して出発。つつじヶ丘は女体山コースを登る。いきなり急な階段が始まる。弁慶茶屋跡付近で関東平野が一望できるようになった。御立石コースで母の胎内めぐり等奇岩を楽しみながら歩く。

12 時に女体山頂着、一等三角点が迎えてくれた。昼食後、男体山を目指して緩いアップダウンの尾根道を 20 分ほど歩くと御幸ヶ原の広場に到着する。売店は休業中で、トイレは改修工事中。男体山の山頂を目差して階段を 5 分も登れば、本殿と測候所があった。樹木が茂っていて女体山ほどの眺望はない。

御幸ヶ原に戻り、ケーブルカー沿いのコースを下山する。正月の初詣準備か、ケーブルカーも点検のため運休中だった。男女川源流までの道は予想以上に荒れて、大きな石がゴロゴロしていた。ケーブルカーを横切って御幸ヶ原コースの参道に出る。数年前の大雨で荒れたままなのか、崩れた木の階段や滑りやすい粘土質の道を慎重に下った。予定より 30 分遅れで筑波山

女体山山頂にて

神社着。安全に愉しめた山行に感謝してお参り。つくば駅に着く頃にはすっかり日が暮れて冬至が近いことを実感した。（写真・文／髙砂壽一）

《感想》河合薫：女体山山頂からの 360 度の絶景は素晴らしかった。お喋りも楽しく、充実した一日だった。浅野薫：ゴロゴロ岩のパワースポットは手強く、頂上は狭くスリルもあり、達成感もひとしおだった。高岡洋子：スタートから足下には岩がゴロゴロとしていた。「弁慶七戻り」「大仏岩」など、岩場ならではの名所も楽しんだ。山頂から霞ヶ浦や太平洋を眺めることができて感動した。

mini レポート

## 鈴鹿山脈をテント縦走
## ―藤原岳から鎌ケ岳へ―

日時 /2021 年 11 月 13 ～ 15 日　参加者 / 野口（い）会員外 2 名　行程 /13 日 / 西藤原駅→藤原岳→竜ヶ岳→石榑峠 /14 日 / 石榑峠→三池岳→釈迦ヶ岳→猫岳→ハト峰→根の平峠→国見岳手前 /15 日 / 国見岳手前→国見岳→御在所岳→武平峠→鎌ヶ岳→湯の山温泉

竜ケ岳山頂から西に琵琶湖、東に伊勢湾が輝いて見えた。人の多いピークを過ぎれば、静かで豊かな自然に浸れた。（野口いづみ）

花崗岩のハト峰

藤原岳山頂で

猫岳に置かれた石

〈中級 10 月山行〉

# 雲取山から飛龍山へ　―白い霧に包まれた県境を歩く―

【日　時】2021 年 10 月 9 日 ( 土 ) ～ 10 日 ( 日 )
【天　気】曇りのち雨
【参加者】8 名 / 講師 : 総括 L 宮崎　受講生 : 山行 L 小澤、中村（敦）、藤本、広瀬、渡辺、石川、山内
【行　程】10/9　奥多摩駅 8:25 ＝ 9:00 ～ 14 鴨沢バス停→ 12:00 ～ 30 堂所（昼食）→ 13:25 ～ 40 七ツ石小屋→ 14:17 ～ 27 ブナ坂→ 15:32 ～ 52 小雲取山→ 16:38 雲取山荘（泊）
10/10　6:08 雲取山荘→ 6:37 雲取山→ 7:05 →山頂避難小屋→ 7:40 ～ 50 三条ダルミ→ 10:57 ～ 11:10 北天のタル→ 12:12 ～ 30 飛竜権現（昼食）→ 13:18 ～ 30 前飛竜（露岩）→ 15:20 熊倉山→ 16:12 ～ 29 サヲウラ峠→ 19:32 丹波バス停

【記　録】

◇ 10/9 ◇気温、湿度共に高く、衣服調整して尾根の右側斜面に絡み上る。登山が久し振りの者もいて、ゆっくりペース。先頭が一人先に進んで後続と距離が空き、指導が入る。石尾根の開けた場所に出てもガスに包まれて展望はなく、アップダウンを繰り返し上り、小雲取山に着く。降雨の恐れあり、雲取山を巻き雲取山荘に向かう。山荘の外で懇親を深めた。

◇ 10/10 ◇予定より 20 分程早く出発。雲取山の北斜面は初級教室では凍結していた。冬場の状況を想像する事が大切と教わる。雲取山山頂からの大パノラマを楽しみにしていたが、朝焼けを少し見せた空は沸き立った雲に包まれていた。山頂避難小屋から山梨県側の足場の悪い急斜面に下る。先頭は後者に声掛けして注意喚起する事が事故防止となると、指導有り。三条ダルミは、南斜面が開けて少し日差しも有り、雁ヶ腹摺山、大菩薩嶺が望めた。三ッ山南斜面巻道は岩と笹薮でルートファインディング。切れ落ちた岩場は木道で濡れて滑りやすかった。北天のタルに一時間近く遅れて到着。雨も降り出した為、飛龍山を登頂せずに進み、

雨に濡れた木道が続く

朝もやの三条ダルミ

夜明け前の山小屋

早朝の雲取山山頂で

飛竜権現で慌ただしく昼食をとる。ここからも岩場や石楠花群生地でルートは分かりにくい。前飛竜を通過して露岩から急斜面を下る。

ミサカ尾根（1780m 地点）で、前者が下るのを岩の上で待っていた者が、バランスを崩して足を滑らせ、5 m程登山道伝いに滑落した。両下肢打撲、擦過傷があり、ガーゼや湿布、伸縮性包帯で固定する等の処置をした。15 分程で処置を終え様子を見た。自力で歩行可能と判断し、荷物を軽くし歩行再開。下山後、左足首軽度の捻挫と報告を受けた。熊倉山から淡々と下りサヲウラ峠へ。丹波天平に行かず、丹波バス停を目指す。最終バスを諦め、塩山のタクシーと家族の車を確保。予定より 3 時間 30 分遅れて丹波バス停に到着。雨天や転倒などあったが、しっかりした計画の重要性を学んだ山行だった。　( 文／山内ひとみ、写真／藤本浩文 )

〈初級 10 月山行〉

# 大菩薩嶺　－久し振りの登山教室はあられに見舞われ－

【日　程】2021 年 10 月 16 日（土）
【天　候】晴れのち曇り一時あられ
【参加者】25 名 / 受講生 15 名、スタッフ 10 名 /(A 班）浅野、上原、内田、田村 ( 郷 )、田村 ( 満 )、平野、三原、山行 L 兼班 L 武藤、班 SL 中村（敦)、講師宮崎、SP 竹中、石川、(B 班 ) 片野、久保嶋、白川 ( ま )、白川 ( み )、高田、古谷、宮崎 ( 順 )、吉田、班 L 河野、班 SL 富永、　講師野口 ( い )、SP 佐久間、小池
【行　程】8:00 甲斐大和駅＝ 8:50 ～ 9:30 上日川峠→ 10:00 ～ 10 福ちゃん荘→ 11:25 ～ 35 雷岩 → 11:45 ～ 50 大菩薩嶺→ 12:00 ～ 25 雷岩 ( 昼食 ) → 13:15 ～ 30 大菩薩峠→ 14:20 ～ 40 武蔵山荘→ 14:50 福ちゃん荘→ 15:10 ～ 40 上日川峠＝ 16:30 甲斐大和駅

【記　録】

８期の受講生にとっては、新型コロナの影響を受け、1 年間の休止後の今年上期の登山実習も中止となっていたので、久し振りの山行だ。甲斐大和駅は多くの登山者で混雑していたが、増便バスにスムーズに乗車した。上日川峠周辺の駐車場は満車状態。天気は快晴。駐車場脇の樹林帯でミーティングなどをして出発。受講生もスタッフも久し振りの山行なのでゆっくり登る。

大菩薩峠にて全員集合

樹林帯の木々は少し紅葉が始まっている。福ちゃん荘で唐松尾根の登りに備えて衣服調整などをする。樹林帯を抜ける手前あたりからガスが出てきて展望が怪しくなる。雷岩の稜線に上がると強い風が待っていた。振り返るとガスに包まれ、富士山が見れなかった。大菩薩嶺は樹林に覆われ展望はないが、記念写真を撮り、雷岩に戻る。雷岩手前の倒木帯で昼食にする。休んでいると体が冷えてくる。受講生に防寒具を着用してもらう。一時あられ混じりの強風に慎重に稜線を下る。展望は全くない。途中岩場の下りを慎重に通過した。

雷岩への最後の登り

小屋平バス停の最終便に合わせ、大菩薩峠のタイムリミットを設定してあった。大菩薩峠では 15 分程度遅れていた。天候は何とか持ちそうだが、小屋平バス停の滑り易い下りや、久し振りの山行であることを考慮し、直接上日川峠バス停に下ることにする。大菩薩峠を下り林道途中の勝縁荘から外れ、宮崎講師、野口支部長の母校の山荘「武蔵山荘」に立ち寄る。会合で集まっていた OB 達からお茶をご馳走になり、11 月高畑山・倉岳山登山の説明をする。武蔵山荘を後にして上日川峠バス停で増便予約のバスに乗車。久し振りの山行でもトラブルがなかったのは良かったが、大展望を眺められなかったのは心残りだった。(文･写真／河野悠二)

〈初級 11 月山行〉

# 高畑山と倉岳山　―富士山と紅葉に歓声―

【日　時】2021 年 11 月 13 日（土）
【天　候】快晴
【参加者】24 名 /（受講生 15 名、スタッフ 9 名）（A 班）浅野、上原、内田、塩谷、田村 ( 郷 )、田村 ( 満 )、平野、山行 L 兼班 L 内藤、班 SL 中村 ( 敦 )、SP 河野、小澤
（B 班）片野、久保嶋、後藤、白川 ( ま )、白川 ( み )、高田、宮崎、吉田、班 L 西山、班 SL 広瀬、講師宮崎、SP 渡辺、小池
【行　程】8:15 鳥沢駅発→ 9:05 小篠貯水池→ 9:45 穴地峠分岐→ 10:35 仙人小屋跡→ 11:25 ～ 11:55 高畑山（昼食）→ 12:40 穴路峠→ 13:15 ～ 13:35 倉岳山→ 14:10 立野峠→ 15:45 ～ 16:00 登山口→ 16:20 梁川駅（解散）

【記　録】

今年 2 回目の登山実習。鳥沢駅前の広場でミーティングなどをして出発。空には雲一つなく、富士山の眺望に期待が膨らむ。

小篠貯水池から登山道が始まる。いつもなら貯水池の水面に紅葉が映って美しいところだが、残念ながら今年は工事で水が抜かれている。しばらくオシノ沢沿いに進み、分岐で右手の尾根に取りついて、つづら折りの急坂がはじまる。あえぎながら登るとやがて尾根上に出て、倉岳山が見えてくる。

尾根道はやがて山腹のトラバースに変わり、仙人小屋跡へ。今日の講習目標の一つは地図読みなので、こうした道の変化を受講生に逐一示しながら進む。仙人小屋跡を過ぎると植林帯の中の急登となり、再び尾根上へ。最後は尾根を直登して高畑山の山頂に至る。

この直登道でちょっとしたハプニングが起こった。道が落ち葉で隠されていて、踏み跡に迷い込んでしまったのだ。幸いすぐに元の道に戻ることができた。秋山でありがちなトラブルで、受講生には良い体験になったと思う。

稜線上のモミジ

倉岳山から見る富士

高畑山山頂にて

高畑山山頂に到着すると、くっきりと鮮やかな富士山が目に飛び込んできた。歓声が上がる。コロナ禍の鬱屈を吹き飛ばしてくれるようような見事な富士だった。

山頂で昼食休憩をとって倉岳山に向かう。まずは急な下り坂。積もった落ち葉は滑りやすく、下に小石や小枝を隠している。ゆっくり慎重に下る。稜線は紅葉に彩られ、黄色の中に時折鮮やかな紅に色づいたモミジが現れる。途中の穴路峠には切通しが開かれ、往時の往来が偲ばれる。峠を過ぎると急登となり倉岳山山頂へ。山頂では再び富士山の絶景が待っていた。光の加減か、より一層輝きを増したように見えた。

夕暮れまで眺めていたいところだが、下山にかかる。稜線を立野峠まで進み、月屋根沢へと下る。北面の沢はすでに薄暗い。時折現れるトチの大木を楽しみに下るが、思いのほか長い。沢沿いのゴロゴロ道は脚にこたえる。それでも計画より早く、日没前に梁川駅にたどり着いた。長丁場を歩き通し、次につながる山行になったと思う。　（文・写真／内藤誠之郎）

〈中級・修了生山行〉

# 竜ヶ岳　―リーダー研修と懇親の山―

【日　時】2021 年 11 月 20 日 ( 土 )
【天　候】快晴
【参加者】19 名 (6 期生 /5 名、7 期生 /4 名、スタッフ /10 名）/ 統括 L 宮崎〔A 班〕嶋田、櫻井、中島、近藤、山本、班 L 藤本、SL 石川、SP 小澤、〔B 班〕吉田、渡辺 ( 富 )、石橋、菅野（玲)、班 L 広瀬、SL 渡辺 ( 誠 )、SP 河野、SP 村岡、SP 山内、SP 中村（敦 )
【行　程】6:55 立川＝ ( 貸切バス ) ＝ 9:25 本栖湖キャンプ場駐車場→ 9:50 登山口→ 11:22 東屋・石仏→ 12:20 ～ 13:10 竜ヶ岳山頂 ( 昼食 ) → 14:08 東屋・石仏→ 15:34 登山口→ 16:10 本栖湖キャンプ場駐車場＝ ( 貸切バス ) ＝ 18:20 立川

【記　録】

今回の山行は登山教室 6・7 期修了生の懇親山行であり、中級登山教室のリーダー研修も兼ねたものだった。貸切バスで本栖湖へ向かう。登山が久しぶりの方もいるのでゆっくり登る。天気に恵まれ、富士が裾野まで見渡せた。初めて先頭を歩く SL 渡辺は歩行ペースを考え、トランシーバーで班 L 藤本に休憩場所、休憩時間を確認するなど、参加者の様子に気を配る。

登山者が多く、すれ違いや追い越しのため何度も足を止めることがあったが、頂上には計画通りの時間に到着した。正面に雪化粧をした富士山、素晴らしい 360 度のパノラマ。風も無くポカポカ陽気の中、50 分間ゆっくり昼食休憩をとる。下山途中、東屋にて膝痛でゴムバンドを巻く人がいたが､無事下山。久々に会う方、初めて会う方との楽しい会話も弾み､目的の｢楽しい懇親山行」が出来た。

リーダーに難しい状況判断が必要になる場面はなかったが、状況の把握と判断を考える経験することも必要と思う。またリーダー研修に参加したい。　（文／中村敦子、写真／藤本浩文）

《感想》中島敦子 ( ６期生 ) : ベタな青空の下、富士山の大沢崩れをはっきりと見る事ができた。背丈程の笹の間をジグザグと登る度、富士山の位置と大きさの変化を楽しみ、時折吹く秋風を感じ、草原状の山頂へ到着した。お喋りも弾み、贅沢なランチタイム。久々に皆さんと一緒に登り親睦深めた充実した山行で、今後も参加したい。石橋身江子 ( ７期生 ) : ３月下旬 1000m を登って以来の体力低下は想像通り、体は実に正直なものだ。『リスクと冒険』の山遊びをまた楽しみたいなあと思わせてくれた竜ヶ岳だった。

木立に包まれて出発前の準備体操

樹間から本栖湖が見える

雪化粧の富士山をバックに意気揚々

〈山行委員会 10 月講習〉

# 大ナゲシ　―雨で濡れそそり立つ岩を登る―

【日　時】2021 年 10 月 16 日（土）
【天　候】晴れのち曇り、ときどき雨
【参加者】5 名 / L 佐藤 ( 守 )、中尾、元木、赤坂 ( 憲 )、赤坂 ( 優 )
【行程】10:00 赤岩峠登山口→ 11:30 赤岩峠→ 12:10 大ナゲシ分岐→ 13:00 ～ 13:15 大ナゲシ基部→
13:45 大ナゲシ山頂→ 14:45 大ナゲシ分岐→ 15:20 赤岩峠→ 16:30 赤岩峠登山口
【記　録】

ツェルト泊・自炊で実施の予定だったが、雨の予報のため延期。第一回の講習で八丁尾根の岩稜歩行を経験したので、今回はフリーで登れる岩峰の大ナゲシ（埼玉・群馬県境）で岩登りを体験することにした。　（佐藤）

廃屋が建ち並ぶ村落の中にある赤岩峠登山口から登り始める。蒸し暑い曇天が氷雨に変わり、赤岩峠で雨支度をする。大ナゲシへ細く傾斜した登山道を注意しながら進む。アップダウンを繰り返し大ナゲシの前に着いた頃には雨が上がる。小腹を満たし、ヘルメットと簡易ハーネスをつけ、アプローチ。大ナゲシはそそりたつ岩山。雨で濡れた岩を 3 点確保で登る。トラロープしかないスリリングな急登やトラバースを声を掛け合いながら進む。大ナゲシ頂上に着くと青空が見える。下山で再び雨。足元に気を付けて赤岩峠へ。赤岩岳へアプローチする計画は時間オーバーで赤岩峠登山口へ下山。

（文・写真／中尾理絵）

濡れた岩を登って登って

大ナゲシ山頂は真っ白だった

青空から一変雨となり、濡れた落ち葉と隠れた木の根に苦戦。鎖場・岩場を経て辿りついた大ナゲシの頂上は真っ白。眺望は望めなかったが達成感があった。360°の眺望を想像するのも楽しく発見多き山行だった。　（元木）

登山口では青空だったが、高度を上げていくとガスがかかり雨となった。大ナゲシに着くと岩は湿った状態で指を掛けると冷たく、足は滑る。緊張の連続、一歩一歩、注意しながら登った。久しぶりの岩登りでカンが鈍っているのを痛感。日ごろの練習の大切さも痛感。（赤坂（優））

秩父の秘境感のある静かな岩山へ。切り立った狭い岩場も、私たちだけで独占できた。久しぶりの岩登りでドキドキワクワク。一部でテープスリングやロープも使った。　（赤坂（憲））

mini レポート

## ―八ヶ岳本沢温泉から硫黄岳へ―

日時 / 1 月 15 日 ~16 日 参加者 / 野口 ( い ) 他 4 名
行程 /15 日　稲子湯→シラビソ小屋→本沢温泉
/16 日　本沢温泉→夏沢峠→硫黄岳→
赤岳鉱泉→美濃戸口

初日はシラビソの林を行く。翌日は夏沢峠まで雪が深くワカンを使う。硫黄岳の北面で冬の強風に吹かれる。硫黄の山頂はすばらしい展望だったが寒いので急いで下り、赤岩の頭を過ぎて一休み。

（野口いづみ）

赤岳を背景に

陽だまりで一休み

〈山行委員会 11 月講習〉

# 飛龍山　―実り多い講習山行―

【日　時】2021 年 11 月 20 日 ( 土 ) ～ 21 日 ( 日 )
【天　候】晴れのち曇り
【参加者】5 名　/L 佐藤 ( 守 )---、SL 中原、中尾、元木、西中
【行　程】11/20（土）9:30 奥多摩駅＝ 10:10 ～ 30 お祭 BS → 11:45 塩沢橋→ 13:00 林道終点→ 13:30 三条の湯 ( 泊 )、
11/21（日）6:30 三条の湯→ 7:00 標高 1250m（簡易ハーネス装着）→ 8:30 登山道崩落箇所
（標高 1550m 付近）→ 9:15 北天のタル→飛龍権現分岐→ 10:30 ～ 45 飛龍山→ 11:10 飛龍権現→
11:15 ～ 30 禿岩（山座同定）→ 12:00 ～ 20 前飛龍→ 13:30 熊倉山→ 14:10 サオラ峠→ 14:45 ～ 15:00
丹波天平→ 16:30~18:00 のめこい湯→丹波役場 BS ＝ ( バス ) ＝ 19:16 奥多摩駅

【記　録】

飛龍山で無雪期の講習は最後だ。テント場でツェルト設営の講習、登山道崩落箇所のカラビナの掛け替え通過、地図読み、岩場の通過など、テーマの多い講習となった。今年度はテント泊が出来なかったので、次シーズンにテント泊で山頂を目指す山行を企画したい。　（佐藤）

◇ 11/20 ◇後山林道から三条の湯へ。紅葉を楽しみながら 3 時間かけて歩いた。

◇ 2 日目◇三条の湯を出発。事前情報通り、ガンバ岩付近に 200 m程に渡り崩落箇所があり、既設のワイヤーにカラビナの掛け替えをしながらトラバースする。北天のタルで休憩。冷たい風が吹き始める。北天のタルから飛龍権現に至る途中で飛龍山への分岐を見落とし引き返す。飛龍山山頂で雨が降り出したためレインウェアを着る。飛龍権現から眺望の良い禿岩に向かう。雨が上がり曇天の隙間に陽が差し、遠くの峰が見える。禿岩を後に飛龍権現に戻り前飛龍に到着し休憩。急な岩稜の下りが続く。膝に疲れを感じる頃、サオラ峠に到着。天平尾根を下り、その名にふわしい平地に至る。南下し丹波山温泉を目指す。のめこい湯で入浴し、最終バスで奥多摩駅に帰った。　( 文・写真／中尾理絵、写真／中原三佐代、佐藤守)

崩壊箇所ではワイヤーを伝って渡る

後山林道で紅葉に迎えられる

霧の飛龍山山頂にて

《感想》
☺中原 SL：実り多い講習山行だった。山頂近道標識の見落としは猛反省。山行を重ね、色々な疑問が湧いてきているようで、これからも一緒に考えていけたらと思う。経験を積むことで感じて学んで試して、自分の物にしていってほしい。私もそうしてやってきたと感じた。
☺元木：飛龍山近道の道標を見落として 10 分進んだところで引き返し、20 分のロスとなった。注意散漫だったことを反省。地図で予習し、しっかり準備をしていきたい。
☺西中：ハプニングもあったが、憧れていた三条の湯に泊まれて良かった。学んだことを生かし、ツェルトで縦走したい。

## 〈低山を楽しむ会〉

### 多摩百山・大羽根山と丸山を行く　―笹尾根シリーズ（１）―

【日　時】2021 年 10 月 20 日（水）　【天　候】晴れ
【参加者】12 名 /L 石塚、SL 小口、SL 小清水、SL 辻橋、河野、高橋（郁）、竹中、田中、富澤、西村（智）、松川（信）、吉田（博）
【行　程】9:00 武蔵五日市駅＝浅間尾根登山口バス停／大羽根山登山口 10:15 → 11:45 大羽根山（昼食）12:15 →笹尾根・笹ヶタワノ峰→ 13:30 笛吹峠→丸山 14:00 →笛吹峠→ 16:18 ＝ 17:00 五日市駅

【記 録】

初めて参加した私のために皆の自己紹介があり、大羽根山登山口からよく整備された登山道を歩き始めた。しばらく上るとキノコがあちこちに生えている。キノコに詳しい松川さんは、食べられるキノコを見つけては収穫していた。コナラやクヌギなどの間の緩やかな登りをゆっくり歩く。大羽根山山頂に到着し、昼食。真っ青な空の下、目の前に御前山、大岳山、遠くに、六ッ石山、鷹ノ巣山が見渡せた。

笹尾根へ針葉樹の植林を登る。日陰にリンドウの蕾を見つけた。一人の女性が下ってきたのが、この山行で出会った唯一人の登山者だった。笹尾根に出てから、低い笹が広がった尾根道を

大羽根山にて

笛吹峠（大日峠）に下る。丸山へはちょっときつい登りだった。笛吹入口バス停への下りは、左に鹿よけ網が張り巡らされたトラバースの狭い道で緊張した。低山を存分に楽しんだ一日だった。　（文／吉田博子、写真／石塚嘉一）

### 紅葉踏み分け、生籐山、三国山、軍刀利山、熊倉山を歩く　―笹尾根シリーズ（２）―

軍刀利神社元社の大カツラ（樹齢 500 年）の前にて

【日　時】2021 年 11 月 17 日（水）　【天　候】晴れ
【参加者】12 名 /GL 本多、L 石塚、SL 小口、SL 小清水、SL 辻橋、高橋（郁）、高砂、竹中、富澤、西村（智）、松川（征）、吉田（博）
【行　程】8:25JR 上野原駅＝（バス）＝井戸バス停 9:00 → 9:45 軍刀利神社→ 12:00 ～ 30 三国山（生籐山往復）→軍刀利山→ 13:20 熊倉山→ 14:45 ～ 15:00 浅間峠→ 16:20 ～ 17:10 上川乗りバス停＝（バス）＝武蔵五日市駅

【記 録】

「多摩百山」の 4 座を歩く笹尾根シリーズ 2 回目。あまり登られていない山梨県側の軍刀利神社から植林の急登を尾根まで上り、三国山に出た。昼食の間に健脚のメンバーは 10 分ほどのところにある生籐山に登った。昼食後、軍刀利神社元社に向かって一旦下ってまた上る。元社の横に、「軍荼利山」と書いた古い小さな標識。熊倉山までの登りがきつくて、予定の倍の時間がかかった。小さな山頂は気持ちよい雑木の中にあった。ここからは、紅葉・黄葉盛りの木々の中を、ふかふかの落ち葉を踏み分けて長い尾根道を浅間峠までひたすら下り続けた。久しぶりの 6 時間を超える歩きになった。　（文・写真／石塚嘉一）

information

# 山行・イベント

★の数は「体力 / 技術」を示します

## 〈山行委 / 定例山行〉

◆北横岳（北八ヶ岳）　2/19( 土 )
体力★★ / 技術★★
白銀の世界に魅了されて。集合 / 北八ヶ岳ロープウェイ山麓駅 10:20、山頂駅→北横ヒュッテ→北横岳南峰→北峰→北横岳ヒュッテ→坪庭→ロープウェイ山頂駅＝山麓駅、歩行 4 時間
●申込 / 齊藤〇締切 2/6( 日 )

◆沼津アルプス・鷲頭山　3/12( 土 )
体力★★★ / 技術★★
富士山と駿河湾の好展望台。集合 / ＪＲ東海道線沼津駅南口改札前 08:30、沼津駅南口バス停＝多比バス停→多比口峠→大平山→多比口峠→鷲頭山 ( 昼 ) →志下坂峠→徳倉山→八重坂バス停＝ＪＲ沼津駅南口、歩行 7 時間
●申込 / 赤坂 ( 憲 ) 〇締切 3/2( 水 )

◆浜石岳（静岡）　4/16（土）
体力★ / 技術★★
大展望を楽しみ、歴史ゆかしい峠道を歩く。集合 / 東海道本線由比駅 08:40、由比駅→曙橋先登山口→西山寺→青少年野外センター→浜石岳山頂→但沼分岐→立花分岐→承元寺分岐→薩埵峠→興津駅、歩行 6 ～ 7 時間　●申込 / 石橋〇締切 4/6( 水 )

◆天城山（伊豆）　5/28( 土 )
体力★★ / 技術★
初春の伊豆半島で、馬酔木とシャクナゲの花を楽しむ。集合 / 伊東駅 09:00、伊東駅 ( タクシー ) ＝天城縦走登山口→万二郎岳→万三郎岳→万二郎岳→天城縦走登山口 ( タクシー ) ＝伊東駅、歩行 6 時間
●申込 / 鬼村〇締切 5/21( 土 )

◆田代山・帝釈山（会津）　6/4( 土 ) ～ 5( 日 )
体力★★ / 技術★
池塘と春のお花畑の花々を楽しむ。残雪も？！集合 / 会津尾瀬口駅 14:00、4 日 / 会津高原尾瀬口駅 ( タクシー ) ＝湯ノ花温泉 ( 泊 )、5 日 / 湯ノ花温泉 ( タクシー ) ＝猿倉登山口→田代山→帝釈山→田代山→猿倉登山口 ( タクシー ) ＝会津高原尾瀬口駅、歩行 7 時間　●申込 / 鬼村〇締切 5/24( 火 )

◆高水三山（奥多摩）　6/18( 土 )
体力★★ / 技術★
三山縦走。集合 / 軍畑駅 08:00、軍畑駅→高源寺→登山口→高水山→岩茸石山→惣岳山→御嶽駅、歩行 4 時間　●申込 / 赤坂 ( 憲 ) 〇締切 6/8( 水 )

### 山行委員会　積雪期の登山技術講習

◆3 月 5~6 日　丹沢主脈
◆3 月 26~27 日　編笠山（八ヶ岳）
◆4 月 9~10 日　奥白根山
◆4 月 30~5 月 1 日　蝶ヶ岳 / 焼岳

## 〈山行委 / 平日山行〉

◆赤ぼっこ（青梅）　2/17( 木 )
体力★ / 技術★
青梅市内を眺めながらランチ。集合 /JR 青梅線宮ノ平駅 08:50、宮ノ平駅→登山口→梅ヶ谷峠→天狗岩→赤ボッコ ( 昼食 ) →馬引沢峠→旧二ツ塚峠→天祖神社→青梅駅、歩行 3 時間 40 分
●申込 / 副島〇締切 2/3( 木 )

◆都留アルプス　3/17( 木 )
体力★★ / 技術★
標高 600 m・8km を歩く。集合 / 都留市駅 08:45、都留市駅→蟻山→白木山→長安寺山→天神山→住吉神社→東桂駅、歩行 4 時間 30 分
●申込 / 富永〇締切 3/2( 水 )

◆能岳・八重山 ( 上野原 )　4/14( 木 )
体力★ / 技術★
のんびりハイキング。集合 / 上野原駅 08:30、上野原駅 ( バス ) ＝新井→能岳→八重山→秋葉山→根本山→上野原駅、歩行 4 時間
●申込 / 中原〇締切 4/6( 水 )

◆釈迦ヶ岳 ( 山梨・御坂山地 )　5/19( 木 )
体力★★ / 技術★★
360°パノラマの絶景。集合 / 石和温泉駅南口 08:15、石和温泉駅 ( タクシー ) ＝檜峰神社→神座山→釈迦ヶ岳→すずらん群生地 ( タクシー ) ＝石和温泉駅、歩行 4 時間 30 分
●申込 / 上原〇締切 5/9( 月 )

◆金比羅山（武蔵五日市）　6/23( 木 )
体力★ / 技術★
アジサイの咲く山へショートハイキング。集合 / 武蔵五日市駅 10:10、武蔵五日市駅→アジサイ山 ( 散策 ) → 金毘羅山→琴平神社→北寒寺→武蔵五日市駅、歩行 4 時間
●申込 / 赤坂 ( 優 ) 〇締切 6/12( 日 )

### 連　絡　先

| | |
|---|---|
| 赤坂　憲子 | ☎ 090-3085-6157 |
| | noriko-h26kota.hillmomo@docomo.ne.jp |
| 赤坂　優貴 | ☎ 090-1692-3637 |
| | bcnr33kai98@gmail.com |
| 石橋　學 | ☎ 090-2670-0895 |
| | m.ib@gaea.ocn.ne.jp |
| 上原　加津維 | ☎ 090-4205-4484 |
| | freddie200x@gmail.com |
| 鬼村　邦治 | ☎ 090-1119-0644 |
| | onimura@jcom.zaq.ne.jp |
| 齋藤　理恵子 | ☎ 090-8101-7877 |
| | rie.bad.guts2804@gmail.com |
| 副島　一義 | ☎ 090-5778-7336 |
| | mayu333soe@nifty.com |
| 富永　真由美 | ☎ 080-2053-2063 |
| | muget.m30@gmail.com |
| 中原　三佐代 | ☎ 090-2652-2450 |
| | nakahara334ron@gmail.com |

# 会　務　報　告

## 幹事会議事録 ( 特記事項のない委員会の報告は省略。詳細は支部ＨＰを参照 )

出席：野口、髙橋、近藤、佐藤、清水 ( 茂 )、柏木、小澤、村岡、高砂、河野、石井、中村 ( 敦 )、 岡田、川瀬、( 監事 ) 竹中、小口 // 欠席：岡田 (136 回 )、小澤（137 回）、長岡（136 ～ 138 回）
会場：立川女性総合センターアイム（136,138 回第 2 学習室、137 回第 3 学習室）

### ■第 136 回幹事会■

日時：2021 年 10 月 19 日 ( 火 )18:30 ～ 20:30

**[ 野口支部長挨拶 ]** 登山教室の大菩薩で受講生に JAC 会員の者が 3 名いたが、1 名は千葉支部だった。千葉支部は山行が多く魅力的とのこと。10/14 野口、石井、川瀬が北島氏遭難の件で静岡県警を訪問。

**[ 協議事項 ]**

**( 小澤 / 総務 )**「山＊フェスタ」の準備の説明。

**( 河野 / 登山 PT)** 第 8 期初級登山教室は来年の 3 月で終了。予定の 70％しか実施できず、補習山行をしたい。今後は初心者と初級を合同して 1 年半を 1 年に短縮し、募集を 20 人に減らすことを考えている。中級では宮崎講師は今年限りの希望。山行リーダーの指導員資格取得、支部の幹部の育成を目指している活動なので、山行委員会も含めた支部全体の活動としてとらえてほしい。

**( 近藤 / 事務局、柏木 / 財務 )** 事業計画書、予算案の記載方法を説明。

**[ 連絡事項 ]**

**( 近藤、事務局 )** 9/25 支部連絡会議報告（46 号 p.1）。

**[ 報告事項 ]**

**( 柏木、財務 )** 9 月度決算報告。2022 年度予算の提出を依頼。当分、清算は植草委員に依頼のこと。

**( 小澤、総務 )** 会員名簿増補は会報 46 号に同封。支部規約の改正があれば次会までに知らせてほしい。

**( 近藤 ( 代理 )、ICT)** 山本委員長の退任希望を受け、11 月から近藤が委員長代行。

**( 高砂、山行 )** 緊急事態宣言により 9 月山行は中止。

**( 河野、自然保護 )** 10/29 講演会の案内。10/15 自然観察会実施（p.2）。

**( 石井、安全対策 )** 10/23「事故発生時のシミュレーション」予定 (p.3)。

**( 中村、BC 運営 )**10/30 から利用を再開。「コロナ感染症対策」の利用方法を決めた。

**( 石井、山岳古道 PT)** 山岳古道調査実施の地元有識者を選定し打合せの日程調整中。

**[ 監事 ] ( 小口 )** 北島さんの件では冷静な対応をしてくれた。**( 竹中 )** コロナ禍で心肺機能等が落ちているので慎重に山行してほしい。

### ■第 137 回幹事会■

日時：2021 年 11 月 16 日 ( 火 )18:30 ～ 20:00

**[ 野口支部長挨拶 ]** 国分寺の山フェスタは盛況で、このようなイベントは支部にとってとても有益なので今後も続けてほしい。

**[ 協議事項 ]**

**( 近藤 / 事務局，柏木 / 財務 )** 提出事業計画書、予算案の要修正点を指摘（山行委員会の計画は手直しして高砂幹事に送る。登山教室は検討後、提出）。

**( 近藤 /ICT)**ICT 委員会、情報配信 PT に関する一連の流れを説明。従来の HP のデータを新 HP に移行する。HP やメルマガの原稿は野口、近藤、村岡、長岡の 4 人に送ってほしい。

**[ 連絡事項 ]**

**( 近藤、事務局 )** 晩餐会ウィークや山行を紹介。

**[ 報告事項 ]**

**( 柏木、財務 )** 10 月度決算報告。2022 年度予算編成は 12 月の幹事会に総括案を提示する。

**( 小澤、総務 )**「山＊フェスタ」の総括（p.1）。来期総会に支部規約の改正として、初級登山教室卒業生の入会年度支部会費の免除、財務委員会と会計委員会の整理など。積立金規程（安全対策積立金関係）の見直し検討など 。

**(村岡、会報)**46 号を 11/7 に発刊。「山＊フェスタ山」にポスターを展示。会報に手紙を同封し、メルアドを照会中。

**( 高砂、山行 )** 登山教室 PT から山行委員会に協力依頼があり、河野、小野、佐藤が協議。小野委員長の後任は継続検討。

**( 河野、自然保護 )** 自然保護講演会（p.4）と秋の自然観察会を実施（p.3）。春の自然観察会の紹介。

**( 石井、安全対策 )** 10 月に「事故発生時講習会」を実施 (p.4)。12/13 安全登山講演会「奥多摩の山岳事故」を実施予定。10 月中級登山教室で転落事故があった (p.10)。個人山行の登山計画書提出推進のために、「簡易マニュアル（チラシ）」の作成。様式は、日帰り山行用（軽登山用、登山用）と宿泊山行用を作成する案など。

**( 中村、BC 運営 )** 備品購入、利用状況など報告。

**( 河野、登山 PT)** 第 8 期初級登山教室 10 月「大菩薩嶺」実施 (p.11)。修了生の補講山行について山行委員会と打ち合わせた。第 9 期初心者・初級登山教室は初心者と初級の区分をせず開講。募集人数は 20 名程度で 1 年間。第 2 期中級登山教室 10 月「雲取山・飛龍山」（p.10）報告。11 月は中級受講生が計画、L、SL を担当した登山教室修了生対象の「竜ヶ岳」を計画。来年度は、リーダーの辞退、講師不在なので継続困難の見込み。**（野口）** 講師候補者を支部内外から集めれば実施可能と思われる。席上、近藤副支部長（地図読み・ナビゲーション）と川瀬幹事（ロープワーク・セルフレスキュー）が協力を表明した。

# 会　務　報　告

**[ 監事 ] ( 小口 )** 国分寺フェスタは展示がよくまとまっていた。OB も久々の交流ができた。いい企画だった。**( 竹中 )** 活動が復活したのが事故があった。急に活動が活発になるときには気を付けてほしい。

## ■第 138 回幹事会■

日時：2021 年 12 月 21 日 ( 火 ) 18:30 ～ 20:30

**[ 野口支部長挨拶 ]** 千葉支部の房総ベースに行った。松田支部長から多摩支部との交流を希望され、ベースにも来てほしいとのこと。

**[ 協議事項 ]**

**( 佐藤、総務代理 )**3/21 集いは開催せず講演会のみ。講師は神長幹雄氏（元「山と渓谷編集長」）。

**( 柏木 / 財務 )** 11 月度決算報告。事業計画・予算案の要修正点を指摘。各委員会に減額を要請。

**（近藤 / 事務局）** Zoom 使いまわしは問題。来年から各委員会で個人契約で Zoom を使用してほしい。

**[ 連絡事項 ]**

**（近藤、事務局・本部関連）** 特別事業補助金募集と登山教室指導者養成講習会の紹介。支部事業委員会からのアンケート依頼があった。

**[ 報告事項 ]**

**( 柏木、財務 )** 11 月度決算報告。2022 年度予算編成について報告。

**（小澤、総務 )** 4/3 新歓散策、5/15 支部総会、8 月懇親バーベキュー、1 月講演会・新春の集い。 12 /4 委員会の鍋割山親睦山行を実施した。

**( 近藤、ICT)** 新 HP のアクセス状況報告。メルマガは毎週水曜日に自動配信。1 週間で更新した内容が自動で送信される。定期配信の内容は山行の情報が多く、写真を提供してほしい。多摩 100 山を新 HP へ移行中。登山計画書、データ入力などを検討中。

**( 高砂、山行 )** 新 HP から山行申込みが可能になった。登山教室 PT から協力依頼について 1 月の委員会で審議。山本曜子氏委員就任。

**( 河野、自然保護 )** 6 月三ツ峠アツモリソウ保護活動、8 月御岳山レンゲショウマ観察会、10 月講演会、9 月～ 10 月秋の自然観察会。1/19 善福寺公園にて野鳥観察会。

**( 石井、安全対策 )** 登山届のマニュアルを作成した。WEB からの提出は ICT 委員会と要検討。12 月安全登山講演会の報告。個人山行の登山計画書提出推進について ICT 委員会と協議してスマホ利用提出方法の運用を整理する。1/31「事故発生時の遭難対策本部講習会」実施。山岳保険の契約説明会の案内。積立金規程（安全対策積立金）の見直し検討。「安全登山講演会」中止。安全登山周知活動チラシ印刷。

**( 中村、BC 運営 )** 12 月小屋閉め大掃除、1 月新年 BC 開きと初詣。8 月 13 日花火と生ビールの会予定。

**( 河野、登山 PT)** 第 8 期初級登山教室は 11 月「高畑山・倉岳山」（p.12）、12 月講座「冬の山に備える」実施。第 9 期登山教室は 2 月募集で第 9 期初心者に申込み者を優先。登山教室スタッフを募集。11 月 20 日中級受講生による「竜ヶ岳」を実施（p.13）。2 月北八ヶ岳・天狗岳の計画。3 月の「白根山」で終了。来年度、宿泊山行を 4 回計画。第 3 期中級登山教室は募集しない。第 9 期登山教室は事業特別補助金 20 万円の申請を追加する。登山教室 PT 運営の見える化（事務局だけが抱えずにメンバーで分担する）を進める。

**( 石井、山岳古道 PT)**「日原往還と富士信仰の道」の地元有識者ヒアリングを日原と奥集落で実施。「古甲州道」の調査の対象は、「東京都檜原本宿～山梨県裂石」の区間とした。

**（高橋、10 周年）** 11/27 に最後の委員会を開催し、解散した（48 号会報）。コロナと北島氏遭難で不完全燃焼だが区切りをつけた。協力に感謝したい。

**[ 監事 ] （小口）** コロナ感染の動きが見えないが交流をはかってほしい。**（竹中）** 国分寺のフェスタは新しいイベントで、これをつなげていけば新しい展開もあるだろう。

---

**会費入金状況（財務委員会）　　（人数）**

| | 入金者数 | 未納者数 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 10 月 | 269 | 26 | 291 |
| 11 月 | 275 | 21 | 292 |
| 12 月 | 289 | 7 | 292 |

＊入金者数の中に返金 1 名含む

**会員移動　10 月 ~12 月（総務委員会）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 10 月末日 | 入会 | 2 名 | 山根伸洋（16824）<br>畑中志保（16828） |
| 11 月末日 | 入会 | 1 名 | 山下貴徳（A0396） |

*「BC 利用者」は 11 月に日帰り（会員 11 名）のみだった

**登山計画書受理・検討件数 ( 安全対策委員会 )( 件数 )**

| 月 | 支部山行 | 同好会山行 | 個人山行 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 10 月 | 5 | 0 | 13 | 18 |
| 11 月 | 4 | 0 | 24 | 28 |
| 12 月 | 3 | 0 | 12 | 15 |
| 合計 | 12 | 0 | 49 | 61 |

**会員数　10 ～ 12 月（総務委員会）　　（人数）**

| | 総会員 | 通常会員 | 準会員 | 会友 |
|---|---|---|---|---|
| 10 月末日 | 292 | 232 | 59 | 1 |
| 11 月末日 | 293 | 232 | 60 | 1 |
| 12 月末日 | 293 | 232 | 60 | 1 |

## カレンダー（2022 年 2 月～ 2022 年 5 月）

| 日　時 | 山　行 | イベント（講座・講演） |
|---|---|---|
| 2/17 ( 木 ) | 平日山行「赤ぼっこ」 | |
| 2/19( 土 ) | 定例山行「北横岳」 | |
| 2/19( 土 ) | 8 期初級登山教室「入笠山」 | |
| 2/19( 土 ) ～ 20( 日 ) | 中級登山教室「北八ヶ岳・天狗岳」 | |
| 3/12( 土 ) | 定例山行「沼津アルプス／鷲頭山」 | |
| 3/12( 土 ) | 8 期初級登山教室「北横岳」・修了式 | |
| 3/17( 木 ) | 平日山行「都留アルプス」 | |
| 3/19( 土 ) ～ 20( 日 ) | 中級登山教室「日光白根山」 | |
| 3/21( 月 ) | | 神長幹雄講演会「冒険者の６つの物語」 |
| 4/3( 日 ) | | 新歓の集い@奥多摩 |
| 4/6( 水 ) | | 9 期講座「山の歩き方」 |
| 4/13( 水 ) | | 9 期講座「登山装備全般」 |
| 4/14( 木 ) | 平日山行「能岳・八重山」 | |
| 4/16( 土 ) | 定例山行「浜石岳」 | |
| 4/23( 土 ) | 9 期初級登山教室「三頭山」 | |
| 5/11( 水 ) | | 9 期講座「山の医療・トレーニング」 |
| 5/15 ( 日 ) | | 支部総会 13 時～@国分寺 |
| 5/18( 水 ) | | 9 期講座「地図の読み方」 |
| 5/19( 木 ) | 平日山行「釈迦ヶ岳 ( 御坂 )」 | |
| 5/28( 土 ) | 9 期初級登山教室「御前山」 | |
| 5/28( 土 ) | 定例山行「天城山」 | |

＊コロナのため変更の可能性もあるので、事前に実施の有無を確認してください

### 会報委員会からのお知らせ

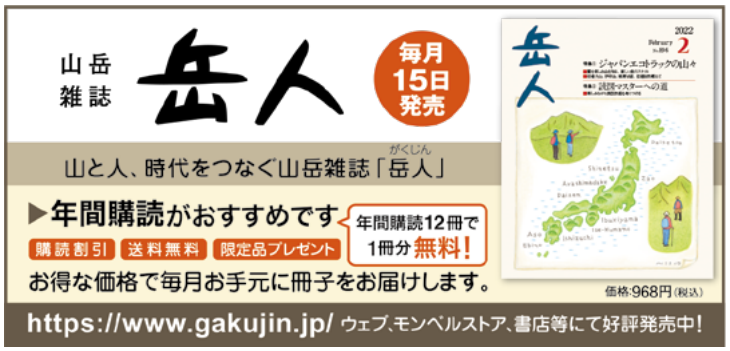
次号 48 号は 2022 年 5 月に発行予定、原稿の締め切りは 3 月末です。原稿は本号を参考にして書式をそろえて下さい。写真はできれば 500kb 以上のサイズでお送りください。原稿は、委員会・山行報告、ミニレポ、エッセイ、書評、思い出の山、山の雑学など、投稿を歓迎します。掲載希望の方は事前にお知らせ下さい。メルマガと会報のメール配信会員を募集中です。是非、お申し込みください。

⇒ ttm@jac.or.jp

### ICT 委員会が委員を募集！

HP の刷新に伴い協力者、至急求む！
PC に強い方歓迎！志望者は下記にご連絡を！
◆近藤　kumagocchinos101836@gmail.com
◆野口　izumi_noguchi@yahoo.co.jp

### ◆編集後記◆

昨年の新入会員オリエンテーションでオーラを放っていた極地探検家の阿部雅龍さん（39）。２年前には単独徒歩 918km で南極点到達を成功させたが、昨年 11 月には人跡未踏ルートで２度目の到達を目指した。残念ながら 780km の地点で断念したが、その冒険家魂に敬服！今後もその冒険を見守りたい。（野口いづみ）

**「会報たま」47 号**
発行所　公益社団法人日本山岳会多摩支部
〒 188-0011 東京都西東京市田無町 4-11-11
Email: izumi_noguchi@yahoo.co.jp
会報委員会／村岡庸こ、野口いづみ、石川さとみ、
川崎真琴、吉川三鈴
協力／グリンカ工房